

2022年3月16日

2023年新卒採用計画及び2022年新卒採用結果について

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 九州経済研究所

[調査要領]	
調査時期	2022年1月下旬～2月下旬
調査方法	インターネット及び郵送
対象企業	県内主要企業 517社 ^(※)
回答企業数	343社（回答率 66.3%）

※本調査は、株式会社南日本新聞社と共同で実施した。

「調査結果のポイント」

1. 2023年新卒採用計画について

- ①2023年新卒採用計画は、全産業ベースで「採用あり」が57%。前年(53%)をやや上回った。
- ②採用人員数(前年比)のD.I.(「増加」－「減少」)は27。前年(25)をやや上回った。
- ③採用活動の内容としては、「通年採用」(52%)、「オンライン説明会・ウェブ面接等の実施」(50%)、「経験者・中途募集」(48%)の順に多かった。
- ④採用の難易度は「確保できそう」な企業割合が27%で前年(38%)を11ポイント下回った。「確保できそう」な理由としては、「県内就職志向の高まり」(51%)が最多で、前年(61%)を大きく下回った。また、「確保は難しそう」な理由としては、「全体的な求人数の増加」(53%)が最多となり、前年(35%)を大きく上回った。

2. 2022年新卒採用結果について

- ①2022年新卒採用結果は、全産業ベースで「採用あり」が54%。前年(51%)をやや上回った。

(※) 前年調査の対象企業数は526社。前年追加した26社のうち9社は、当社業況アンケート対象先(500社)に新たに追加されている。

- ②採用人員数（前年比）の D.I.（「増加」－「減少」）は 15 で、前年（14）とほぼ同じだった。
- ③採用の難易度は「確保できた」企業割合が 57% で、前年（60%）を 3 ポイント下回った。「確保できた」理由としては、「県内就職志向の高まり」（42%）が最も多く、次いで「オンライン説明会やウェブ面接など新しい採用活動の実施」（40%）が続いた。一方、「確保できなかった」（43%）の理由としては、「全体的な求人数の増加」（44%）が最も多く、次いで「県外志向が依然強い」（31%）が続いた。

3. 経営への新型コロナウイルスの影響について

新型コロナウイルスの影響により、1年前と比べて経営環境が「厳しくなった」と回答した企業割合は 51% で前年（62%）を大きく下回った。また、D.I.（「良くなった」－「厳しくなった」）は▲44 で、前年（▲57）から大きく改善したとはいえ、依然厳しい状況である。厳しくなった要因は「燃料・原材料価格の高騰」（57%）が最多だった。新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかは「わからない」と回答した企業の割合が 37% と最も多く、次いで「1年後まで（2023年初め頃まで）」（30%）の順となった。

4. 各社の採用予定数・採用実績数について

図表 5 の通り。

1. 2023 年新卒採用計画について

2023 年新卒採用計画は、全産業ベースで「採用あり」が 57% で、前年（53%）をやや上回った（図表 1）。業種別にみると、「採用あり」と回答した企業割合は「建設業」（74%）、「小売業」（66%）、「その他産業」（59%）、「卸売業」（50%）、「製造業」（45%）の順となった。

採用人員数（前年比）については、「増加」（33%）、「前年並み」（61%）、「減少」（6%）となり、D.I. は 27。前年（25）を 2 ポイント上回った。

採用活動の内容としては、「通年採用」（52%）、「オンライン説明会・ウェブ面接等の実施」（50%）、「経験者・中途募集」（48%）の順に多かった。

採用の難易度は「確保できそう」な企業割合が 27% で、前年（38%）を 11 ポイント下回った。「確保できそう」な理由としては、「県内就職志向の高まり」（51%）が最も多かったが、前年（61%）を大きく下回った。一方、「確保は難しそう」は 73%。「確保は難しそう」な理由としては「全体的な求人数の増加」（53%）が最多となり、前年（35%）を大きく上回った。

採用に際して労働条件を改善する企業は34%で、前年(24%)を10ポイント上回った。改善する内容は、「初任給引き上げ」(67%)が最も多く、「労働時間短縮」(22%)が続き、いずれも前年を上回った。また、今回新設した「研修機会の充実」は22%で、「労働時間短縮」と同率で2番目に多かった。

採用人員が増加または前年並みとなる理由は、「人手不足対策」(58%)、「将来の労働人口減少への対策」(50%)の順に多かった。一方、「採用なし・減少」の理由は、「現有の人員で十分」(49%)が最も多かった。

2. 2022年新卒採用結果について

2022年新卒採用結果は、全産業ベースで「採用あり」が54%で、前年(51%)をやや上回った(図表2)。業種別にみると、「採用あり」と回答した企業割合は「小売業」(64%)、「その他産業」(61%)、「建設業」(53%)、「卸売業」(50%)、「製造業」(43%)の順で多かった。

採用人員数(前年比)については、「増加」(40%)、「前年並み」(35%)、「減少」(25%)となり、D.I.は15。前年(14)とほぼ同じだった。

採用の難易度は「確保できた」企業割合が57%で、前年(60%)を3ポイント下回った。「確保できた」理由としては、「県内就職志向の高まり」(42%)が最も多く、次いで「オンライン説明会やウェブ面接など新しい採用活動の実施」(40%)、「適当な人材が豊富」(16%)の順となった。一方、「確保できなかった」企業割合は43%。「確保できなかった」理由としては「全体的な求人数の増加」(44%)で、前年(25%)を大きく上回った。

採用に際して労働条件を改善した企業割合は32%で、前年(28%)を上回った。改善した内容は、「初任給引き上げ」(76%)が最も多く、前年(68%)を上回った。

採用人員が増加または前年並みとなった理由については、「人出不足対策」(51%)が最も多く、前年(52%)とほぼ同水準。一方、「採用なし・減少」の理由としては「現有の人員で十分」(34%)が最も多かったが、前年(42%)を下回った。

3. 経営への新型コロナウイルスの影響について

新型コロナウイルスの影響により1年前と比べて経営環境が「厳しくなった」と回答した企業割合が51%に上った(図表3)。一方、「良くなった」は7%、「変わらない」が42%。D.I.（「良くなった」－「厳しくなった」）は▲44で、前年

(▲57) から大きく改善したとはいえ、依然厳しい状況である。経営環境が厳しくなった要因は「燃料・原材料価格の高騰」(57%) が最多で、次いで「外出自粛による来店客減少」(44%)、「営業・出張等の自粛」(36%) の順となった。新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかは「わからない」と回答した企業の割合が 37% と最も多く、「1 年後まで (2023 年初め頃まで)」(30%)、「2 年後まで (2024 年初め頃まで)」(14%) が続いた。

4. 各社の採用予定数・採用実績数について

図表 5 の通り。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)

図表1 2023年新規学卒者の採用計画

(単位:%)

		2023年 計画	2022年 計画	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他 産業	
回答企業数		343	352	94	49	36	62	102	
新規 採用 計画	採用あり	57	53	45	74	50	66	59	
	採用なし	19	21	25	4	19	15	22	
	未定	24	26	30	22	31	19	19	
(前年 人員 比)	増加	33	31	33	31	35	32	36	
	前年並み	61	63	57	61	65	65	59	
	減少	6	6	10	8	0	3	5	
	D.I.「増加」-「減少」	27	25	23	23	35	29	31	
採用 活動 の 内容 (注1)	通年採用	52	49	45	61	61	60	44	
	オンラインの説明会・ウェブ面接等の実施	50	45	62	44	39	50	48	
	経験者・中途募集	48	42	43	61	28	48	51	
	学校訪問を増やす	37	34	50	42	17	38	31	
	説明会の回数を増やす	36	34	38	33	28	40	36	
	既卒者募集	35	35	31	42	22	40	34	
	インターンシップの回数・期間を増やす	28	30	24	33	22	35	24	
	外国人の採用	11	7	7	11	6	10	15	
	特に対策は取らない	5	5	7	0	6	3	7	
	その他	4	3	0	3	11	0	9	
採用 の 難 易 度	確保できそう	27	38	14	21	33	31	35	
	理由	県内就職志向の高まり	51	61	83	43	80	46	40
		適当な人材が豊富	27	19	17	29	0	27	35
		労働条件などの改善	18	19	17	0	20	27	20
		全体的な求人数の減少	10	22	0	14	40	9	5
		その他	18	13	0	14	0	27	20
	確保は難しそう	73	62	86	79	67	69	65	
	理由	全体的な求人数の増加	53	35	58	41	64	50	54
		県外志向が強い	35	36	33	44	18	25	41
		労働条件が他企業より劣る	22	35	19	15	9	29	27
適当な人材がない		17	19	8	19	9	29	19	
その他		16	18	17	19	27	13	14	
採用 に 際 し て	労働条件を改善	34	24	36	26	22	40	36	
	内容	初任給の引上げ	67	70	91	67	100	54	56
		労働時間短縮	22	15	18	33	33	15	22
		研修機会の充実(注2)	22	-	9	33	0	23	28
		休暇の充実	18	30	0	33	33	23	17
		その他	6	3	0	0	0	8	11
労働条件は本年度と同じ	66	76	64	74	78	60	64		
前 年 員 並 の 増 加 理 由	人手不足対策	58	57	71	65	65	56	46	
	将来の労働人口減少への対策	50	38	53	52	41	46	52	
	退職者の補充	48	59	53	29	59	54	48	
	販売・営業部門強化	25	20	18	19	47	33	19	
	業況の改善	10	12	6	16	0	10	11	
	工場、店舗増設などの業務拡大	10	9	15	7	6	13	7	
	管理部門強化	9	8	12	10	6	5	9	
	新規事業への進出	5	4	3	3	6	5	7	
	雇用形態の変化(正社員を増やす)	5	3	12	7	0	0	6	
	新型コロナウイルスの影響	2	2	0	0	0	3	4	
その他	5	5	3	7	0	5	7		
採 用 な し の 理 由	現在の人員で充分	49	57	56	20	43	60	46	
	雇用形態の変化(中途採用で対応)	30	27	19	40	29	30	42	
	雇用形態の変化(パートで対応)	14	8	15	20	29	20	4	
	組織のスリム化	11	11	15	0	14	0	13	
	雇用形態の変化(派遣社員で対応)	4	1	4	0	0	10	4	
	業況の悪化	4	18	4	0	14	0	4	
	新型コロナウイルスの影響	4	17	0	0	0	10	8	
	事業規模の縮小	3	8	0	0	0	0	8	
	合理化、機械化の促進	1	9	4	0	0	0	0	
	業務のアウトソーシング(外注)化	1	1	0	0	14	0	0	
その他	11	1	7	20	0	10	17		

(注1) 理由、内容の項目は、複数回答。

(注2) 「研修機会の充実」は今回追加。

図表2 2022年新規学卒者の採用結果

(単位:%)

		2022年 結果	2021年 結果	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他 産業	
回答企業数		343	352	94	49	36	62	102	
新規 採用 結果	採用あり	54	51	43	53	50	64	61	
	採用なし	46	49	57	47	50	36	39	
(前年 人員 比)	増加	40	36	45	35	39	46	34	
	前年並み	35	42	35	38	33	41	32	
	減少	25	22	20	27	28	13	34	
	D.I.「増加」-「減少」	15	14	25	8	11	33	0	
採用 の 難 易 度	確保できた		57	60	45	54	61	71	57
	理由	県内就職志向の高まり	42	34	50	36	55	37	41
		オンライン説明会やウェブ面接など新しい採用活動の実施	40	42	50	36	46	41	35
		適当な人材が豊富	16	12	22	21	9	15	15
		全体的な求人数の減少	8	24	0	14	9	11	6
		労働条件などの改善	5	13	6	21	0	0	3
		その他	15	11	0	14	9	22	21
	確保できなかった		43	40	55	46	39	29	43
	理由	全体的な求人数の増加	44	25	64	42	43	36	32
		県外志向が依然強い	31	21	27	50	14	36	28
		労働条件が他企業より劣る	18	31	18	0	0	18	32
		適当な人材がない	16	24	0	8	29	18	28
その他		26	29	36	17	29	18	24	
採用 に 際 し て	労働条件を改善		32	28	35	42	17	33	30
	内容	初任給引き上げ	76	68	93	64	67	77	71
		休暇の拡充	19	24	0	27	67	31	12
		労働時間短縮	17	20	14	9	33	23	18
		研修機会の充実	17	-	21	0	33	23	18
		その他	18	6	21	0	33	23	18
	労働条件は前年度と同じ		68	72	65	58	83	67	70
前年 人員 並 み の 加 理 ・ 増 加 の 理 由	人手不足対策		51	52	59	53	39	49	50
	退職者補充		50	52	56	21	62	61	45
	将来の労働人口減少への対策		39	32	38	63	31	27	42
	販売・営業部門強化		23	24	16	21	46	30	16
	工場・店舗増設等の業務拡大		10	7	19	16	8	9	3
	業況の改善		8	6	13	11	0	6	8
	雇用形態の変化(正社員を増やす)		7	4	6	11	0	3	11
	新規事業への進出		6	5	6	5	8	3	8
	管理部門強化		5	12	3	16	0	0	8
	新型コロナウイルスの影響		2	1	0	0	0	3	5
	その他		6	5	3	11	0	3	11
採用 な し ・ 減 少 の 理 由	現有の人員で十分		34	42	37	14	46	41	33
	応募が無かった		27	26	24	62	14	7	28
	中途採用で対応		21	25	22	17	18	22	22
	パートで対応		9	7	10	3	14	19	6
	業況の悪化		8	13	10	0	9	7	9
	新型コロナウイルスの影響		8	15	10	3	0	7	11
	組織のスリム化		5	8	7	0	9	0	7
	派遣社員で対応		3	2	5	0	0	4	2
	事業規模の縮小		2	4	2	0	0	4	4
	合理化・機械化の促進		2	4	2	0	5	4	0
	業務のアウトソーシング化		1	4	0	0	0	0	2
その他		14	5	12	7	18	15	19	

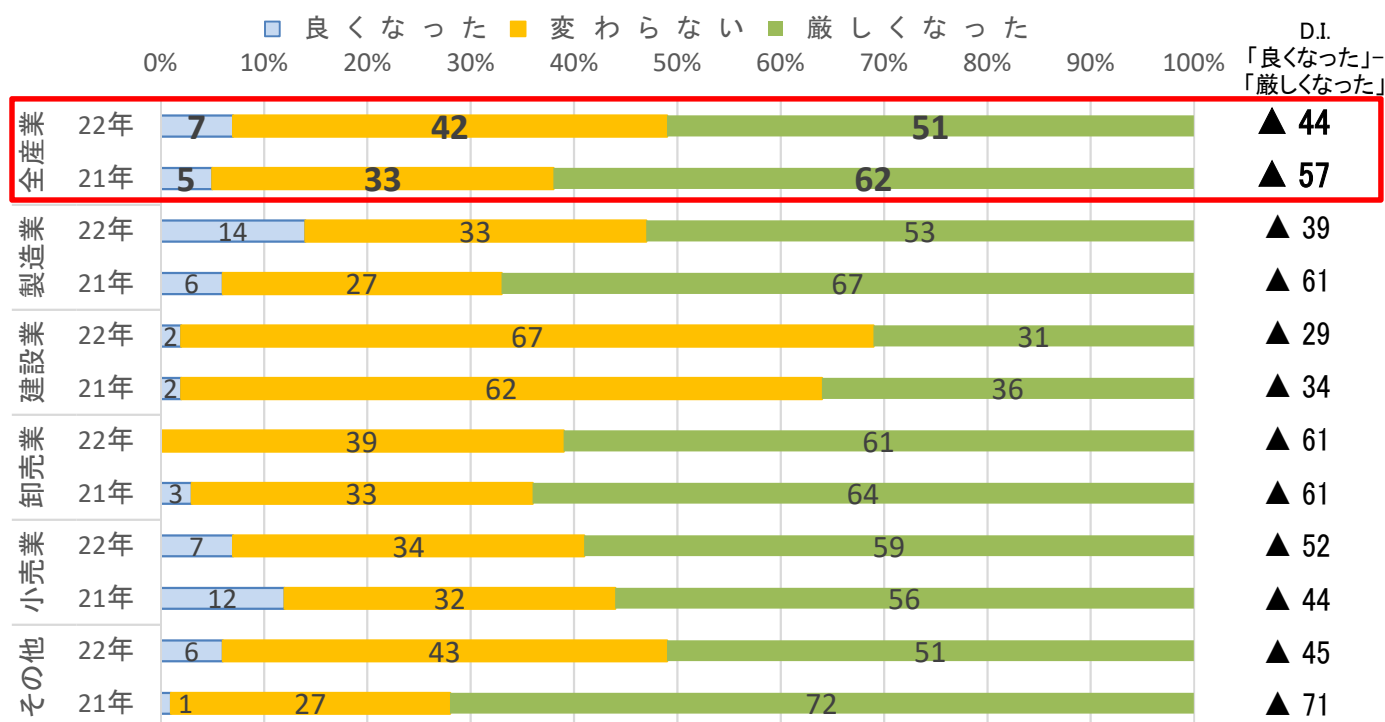
図表3 経営への新型コロナウイルスの影響について

(単位:%)

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
経営環境は前年に比べて	良くなった	7	14	2	0	7	6	
	変わらない	42	33	67	39	34	43	
	厳しくなった	51	53	31	61	59	51	
	理由	燃料・原材料価格の高騰	57	80	60	36	42	54
		外出自粛による来店客減少	44	25	13	55	56	60
		営業・出張等の自粛	36	49	20	55	28	25
		顧客の嗜好・ニーズの変化	18	18	27	14	14	19
		感染予防策など費用の増加	16	12	7	14	14	25
		従業員のコロナ感染または濃厚接触者による欠勤者増加	10	2	7	18	19	8
		行政からの時短要請	8	6	0	5	3	17
その他	16	14	27	14	17	15		
コロナの影響が	半年後まで(2022年夏頃まで)	12	11	10	14	8	16	
	1年後まで(2023年初め頃まで)	30	23	35	22	36	32	
	2年後まで(2024年初め頃まで)	14	11	8	14	16	18	
	3年後まで(2025年初め頃まで)	5	3	8	3	7	4	
	4年後以降(2026年以降)	3	4	0	0	5	3	
	わからない	37	48	39	47	29	28	

(注)理由は複数回答

図表4 経営環境(前回調査比較)



図表5 県内企業の2023年採用予定・2022年採用実績

	2023年予定			2022年実績			
	高卒	短大・専門 学校等卒	大卒	高卒	短大・専門 学校等卒	大卒	
総合							
1	南国殖産	6~9	4~6	20~25	10	3	24
2	M i s u m i	15	20		13	1	11
3	竹山産業開発	未定			0	0	0
農林水産							
4	東町漁業協同組合	約5			4	0	1
5	南州ファーム	5			3	1	1
6	霧島エッグ	約5			0	0	0
食品製造							
7	太陽漬物	未定			0	0	0
8	薩摩酒造	約5	約5		3	0	3
9	本坊酒造	4~6			0	0	4
10	大口酒造	未定			0	0	1
11	南日本くみあい飼料	10~15			5	0	2
12	ナンチク	10	15		6	0	7
13	ジャパンファーム	32	3	16	17	0	8
14	マルイ農業協同組合	6	約5		10	0	4
15	志布志畜産	約10	約3	約2	3	0	0
16	サナス	4~8			3	2	3
17	明石屋	5~10	5~10	5~10	14	6	5
18	徳重製菓とらや	未定			1	0	0
19	イケダバン	28	2	5	22	1	5
20	カミチク	未定			7	0	7
21	南薩食鳥	10			4	0	1
22	財宝	未定			6	0	7
23	南海食品	1~2	0	0	0	0	0
24	三和物産	未定			0	0	0
25	鹿児島製茶	未定			5	0	0
26	大隅ミート産業	未定			0	0	0
製造							
27	きもつき木材高次加工センター	若干			0	0	0
28	中越パルプ工業 川内工場	若干			3	1	0
29	南州コンクリート工業	約2			0	0	0
30	マルサ工業	0	0	0	0	0	1
31	九州タブチ	2	2	2	2	1	3
32	南光	10			7	0	0
33	フェニテックセミコンダクター鹿児島工	10	0	4	7	0	3
34	昭光エレクトロニクス	8	1	0	1	0	0
35	岡野エレクトロニクス	未定			0	1	0
36	京セラグループ	約620		約620	568		561
37	サンケイ化学	2	1	4	1	0	4
38	トヨタ車体研究所	未定			2	1	6
39	日之出紙器工業	約10	0	1~2	10	0	1
40	マイクロカット	8	2	2	3	2	1
41	日本計器鹿児島製作所	5			1	0	0
42	日特スパークテックWKSさつま工場	未定			5	0	0
43	サンコー	2	0	0	0	0	0
44	山佐木材	未定			0	0	0
45	鹿児島ドック鉄工	未定			0	0	0
46	エルム	約2			0	0	0
47	マトヤ技研工業	2~3			1	1	0
48	サンテック九州 鹿児島支店	未定			0	0	0
49	藤田ワークス	5	2	1	3	3	0

		2023年予定			2022年実績			
		高卒	短大・専門 学校等卒	大卒	高卒	短大・専門 学校等卒	大卒	
建設・資材								
50	コーアツ工業	3~5	3~5	3~5	3	2	0	
51	ヤマグチ	3	0	1	7	0	2	
52	池田建設	5			0	0	0	
53	西郷組	1~3			0	0	0	
54	吉丸組	2~3			1	1	0	
55	純浦建設	2	0	1	0	0	0	
56	トータルハウジング	5	3	5	4	2	5	
57	七呂建設	0	10			0	5	19
58	ヤマサハウス	1~2	1~3	5~10	2	1	5	
59	ユーミーコーポレーション	0	0	4	0	0	1	
60	創建	0	1	0	0	0	1	
61	米盛建設	3	0	2	1	1	0	
62	森建設	2	1	1	1	0	0	
63	南電工	約12			5	1	0	
64	稲盛機工店	2	2	2	0	1	1	
65	今別府産業	5			1	0	2	
66	久保技建	約2			0	0	0	
67	加根又本店	約5			0	0	4	
68	小園硝子商会	2	0	2	1	1	3	
69	土佐屋	5	2	2	3	0	1	
70	ナカムラ	0	0	5	0	0	6	
71	アリマコーポレーション	未定			2	0	1	
72	三窪建設	未定			0	0	0	
73	山佐産業	5			1	0	0	
74	カーネギー産業	未定			5	0	0	
75	シンケン	5			1	3	2	
76	さくらハウジング	未定			0	0	0	
77	川北電工	未定			14	0	2	
78	坂本建設	若干			0	0	0	
79	内山組	約1			0	0	0	
80	五月産業	2~3	0	0	0	0	0	
81	前田組	2	1	2	3	0	1	
卸売								
82	鹿児島中央青果	未定			2	0	1	
83	鹿児島青果	未定			0	0	0	
84	南九州酒販	0	0	2~3	0	0	3	
85	山口水産	未定			1	0	0	
86	有村商事	3	0	0	2	0	0	
87	リコージャパン鹿児島支社	未定			0	0	1	
88	西原商会	0	0	140	0	1	136	
89	タカイ	未定			1	1	0	
90	パステムソリューションズ	未定			2	0	2	
91	メディコープ	未定			0	0	0	
92	オーリック	50			2	10	16	
百貨店・スーパー								
93	山形屋	約6	約6	約8	4	2	8	
94	生活協同組合コープかごしま	5	5		6	0	5	
95	ニシムタ	50			32	2	12	
96	イオン九州鹿児島事業部	約70	約5	約75	69	2	78	
97	城山ストアー	1~3			0	0	0	

		2023年予定			2022年実績		
		高卒	短大・専門 学校等卒	大卒	高卒	短大・専門 学校等卒	大卒
自動車							
98	トヨタカローラ鹿児島	0	10~20	3~5	0	10	10
99	鹿児島三菱自動車販売	未定			0	2	0
100	鹿児島トヨペット	未定			1	5	14
101	鹿児島ダイハツ販売	1~3	8	5	0	2	6
102	南九州日野自動車	15~20			8	5	1
103	鹿児島日産自動車	1~2	3~5	3~5	3	2	1
104	ワカマツ自動車	未定			0	0	0
105	西自動車	未定			0	0	0
106	鹿児島トヨタ自動車	2~3	5~10	5	0	18	2
107	ネットトヨタ鹿児島	6~10			1	3	3
108	ホンダさつま	1~5	1~5	1~5	2	4	0
109	南九州マツダ	0	6~9	5~8	0	6	5
110	トヨタL & F 鹿児島	0	1	0	0	1	0
111	スズキ自販鹿児島	12			0	7	7
石油・ガス							
112	阿久根石油	5			2	0	0
113	日米礦油鹿児島支店	未定			3	0	0
114	コアガス日本	約10			1	2	7
115	ENEOS喜入基地	1~5	0	1~5	1	0	1
116	大島石油	4	0~2	0	1	0	0
117	日本ガス	0	0	6	0	0	4
その他小売							
118	南九州ファミリーマート	約1~5			0	0	5
119	きたやま	未定			2	0	0
120	カクイックスウィング	2	0	2~5	3	0	4
121	インハウス久永	0	0	4	0	0	2
122	久永	0	未定	1~3	0	1	2
123	光学堂	3~5			1	2	2
124	ピーザ・ワン	4			0	5	0
125	サツマ酸素工業	0	3~5		0	2	1
126	しんぶく	未定			0	2	1
127	迫田	10			5	1	3
128	城山薬品	約3			0	0	1
129	健康家族	10			1	3	3
130	ワールドサンフーズ	3			1	0	0
131	富士フィルムビジネスイノベーション ジャパン鹿児島支社	0	2	2	0	2	3
132	ヒューズ	未定			2	0	0
旅館・ホテル							
133	指宿フェニックスホテル	5	5~10	若干	1	0	0
134	指宿白水館	約15			6	3	3
135	城山観光	30	5	5	29	8	4
136	ホテル中原別荘	未定			3	0	0
137	妙見石原荘	未定	1	1	0	1	0
138	霧島観光ホテル	3~8			0	0	0
139	指宿シーサイドホテル	未定			2	0	1
運輸・通信							
140	南国交通	25			3	6	1
141	南国交通観光	5	0	0	1	0	0
142	セイコー運輸	2	0	0	0	0	0
143	出水運輸センター	2~3			2	0	0
144	マルエーフェリー	1~3			0	1	2
145	園田陸運	5~10			2	0	0
146	名瀬港運	未定	未定	1~2	0	0	0
147	鹿児島第一交通	0	3	5	0	1	4
148	中川運輸	未定			1	0	0
149	帝国倉庫運輸	約2	約3		2	0	0

		2023年予定			2022年実績		
		高卒	短大・専門 学校等卒	大卒	高卒	短大・専門 学校等卒	大卒
外食							
150	康正産業	30			11	0	1
151	なべしまホールディングス	10~15	3~5	3~5	16	0	1
152	山元産業	3	0	0	0	0	0
その他サービス							
153	昴	0	0	15	0	0	8
154	南日本情報処理センター	約20			3	4	11
155	グリーンヒル	2~3			1	0	0
156	文化社	2			0	1	1
157	M B C 開発	5~10			0	0	9
158	カクイックス	5~10			8	0	2
159	菊川鉄工	1~2	0	0	0	0	0
160	鹿児島島土木設計	2~3			0	0	1
161	新和技術コンサルタント	未定			0	2	2
162	鹿児島空港ビルディング	1	1	0	1	0	0
163	鹿児島総合警備保障	15~20	1~5	10~15	9	0	9
164	プリンス松山美容室	未定			1	1	0
165	大福コンサルタント	1~2	1~2	1~2	1	1	0
166	ソフトマックス	20			0	2	4
167	ユニバーサルソフト	2~3			0	0	1
168	芙蓉商事	5	0	0	3	0	0
169	鹿児島医療生協	0	3~5		0	1	2
170	大進	5			2	2	0
171	プリントネット	未定			2	0	0
172	プライムアシスタンス	未定			0	7	14
173	日本システム	5			0	2	1
174	ソフト流通センター	約4~6			1	2	0
175	現場サポート	0	0	約5	0	0	5
176	K C R	0	0	2	0	0	1
177	藤絹	未定			0	1	0
178	モリナガ	4~5			0	2	1
179	新日本科学	5~10	0~5	40~50	7	0	34
180	久永コンサルタント	2	0	2	1	0	1
181	島津興業	3~4	2~3	4~5	7	2	4
182	富士通鹿児島インフォネット	0	0	5	0	0	3
183	南日本総合サービス	未定			2	0	0
184	久永情報マネジメント	1~2			0	0	0
185	セイカスポーツセンター	1~5			1	0	0

(注)2022年実績で「採用実績あり」または2023年計画で「採用予定あり」と回答した企業を掲載している。

採用計画・結果等に関する主な意見

		意見
製造業	食料品	年々、応募が減少傾向にあり、新卒採用者に代わって外国人技能実習生の受入れを増やした。
		説明会や面接がオンライン化してきており、企業と学生の関係が希薄になってきている傾向が目立った。企業サイドのフォローの回数、質を改善しなければ少ない応募から内定を出した学生を逃がしてしまう結果になる。その辺りの改善が急務です。
		採用の検討をしていたが、長引くコロナ感染症の影響で断念した。
	機械・金属	最近、近隣の経営者が海外の人の方が、良く働いてくれるのをごを良く聞きます。私共も日本人は権利は主張するが義務は果たさないと最近感じています。採用の仕方と働き方の改革ではないのですが考えざるを得ないと思います。
		採用枠に対し希望者が少なく人選があまり出来ない。
	電機・電子	鹿児島県内での採用が難しくなっています。(県外への人材流出に伴い)
慢性的に人員が不足しているため、新卒の採用を増やし不足を解消したい。		
建設業	その他建設	新卒採用よりUターン及びびターンの中途採用が即戦力として期待できる。
卸売業	食料品卸売	新型コロナの感染拡大で採用環境が大きく変わっており、企業独自の採用方法を確立する必要があると思われる。
	その他卸売	コロナ終息までは事業拡大を前提にした増員は難しい。
		コロナ禍での採用活動は対面活動、ネット活動では思うような採用活動が出来ない。
小売業	自動車	コロナの影響により学生さんとの交流が出来ず直接会社の様子を見てもらったり話をしたりする機会がなく残念。webだけで就活するのではなく、職場をみて検討してほしい。
		自動車整備士を志す学生の減少が気になる。
	百貨店・スーパー	コロナ終焉後のV字回復に期待するが、社内的にも新規採用は至上命題である。
	その他小売	この数年、COVID-19にふりまわされて学生さんや生徒さん(十高校の先生方)をお待たせしてしまうことが増え心苦しくなります。収束はあっても終息まではまだまだかかると想像できるので、スケジュールを多少融通がきくようにすべきかなと思います。 新卒採用に関しては、学生への認知をどのようにアプローチするかが課題。中途採用は年々求人に対する応募数、質ともに悪くなっている印象を受ける。
その他産業	旅館・ホテル	採用はしたいが、新型コロナウイルスの影響だけでなく、元々少子高齢化もあり、満足出来る採用は期待出来ないと思う。
	サービス	鹿児島県に就職する学生が少ないのが現実。都市圏への流出を止めないと厳しい。
		コロナ禍において学生の地元志向が強くなったということだが、求人活動を行っていてもまだまだ学生の都市部や大手企業への就職志向が強いと感じる。地元鹿児島県が一体となって地域の魅力を発信し続ける必要があると感じる。また、Uターン就職においてもある調査において近隣の福岡や熊本県は高い数値だが鹿児島県の数値が低いのはまだまだ地域の魅力発信が不足しているのだと思う。
	農林水産	近年、大卒学生は公務員志望の傾向が強くなっていると感じる。 人員不足が大変深刻です。海外の技能実習生も不足しています。